

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

平成30年度第6回 理事会 議事録

【開催日時】平成31年1月18日(金) 14:00~15:30

【開催場所】ポートピアホテル 南館 ルビー

【出席した理事】中村博亮、松山幸弘、川上 守、島田洋一、大川 淳、千葉一裕、西良浩一、高相晶土、種市 洋、永島英樹、中村雅也、長谷川和宏、前田 健、山下敏彦、山田 宏、渡辺雅彦

【出席した監事】加藤文彦、小西宏昭

【議事の経過の要領及びその結果】

中村博亮理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

審議・決議事項

1. メンバーシップ・コンプライアンス委員会より：会員審査(10-12月分)

島田理事が、10~12月の入退会について、推薦者のない非医師の申請者1名以外の承認を報告した。この1名については、申請者の所属する都道府県(千葉県)の評議員リストを添付して推薦を得たうえで再申請するよう回答済みと説明した。

2. JSR 編集委員会より：JSR 優秀論文賞の選考方法と賞金について

長谷川理事が、以下の案を提案し、検討の結果承認した。

選考・・・JSR 編集委員全員を選考委員とする。

受賞者・・・2名以内

賞金・・・1名につき10万円

3. JSR 編集委員会より：JSR オンライン化についての今後の進め方

長谷川理事が、JSR のオンライン化について、関連7学会のうち日本脊椎低侵襲学会以外はすべて賛同が得られたと報告した。

2020年1月号から目指すJSR 完全オンライン化に関して、抄録号のオンライン化と検索機能、国会図書館へのCD-ROM 納付などについて検討し、3社に対して予定投稿数をオーバーした時の経費を含めて見積もりを依頼することとした。

4. 用語委員会より：用語集の財源についてとその規模

高相理事が、用語集の出版について出版社である南江堂から、献本(200冊程度)および追加図表等の作成費用の全額負担の回答を得たことを報告した。なお、定価は3500円、買い上げ希望3450部などの要望があり、再度南江堂と交渉することになった。

審議・報告事項

1. 2022・2023・2024年学術集会会長の件

2022・2023・2024年学術集会会長の立候補者を承認した。

【第51回(2022)】 中村雅也(慶應大学)

【第52回(2023)】 種市 洋(獨協医科大学)

【第53回(2024)】 渡辺雅彦(東海大学)

2. 指導医制度委員会より：H30指導医審査結果について

前田理事が、平成30年度の指導医新規受験について、78名の申請者中1名のみ評議員がB判定(不合格)をつけたため不合格になったことを報告した。継続申請144名、名誉指導医申請1名、猶予申請1名はそのまま認められたことを報告した。

3. JSR編集委員会より：委員会報告

長谷川理事が、JSR投稿規定およびCOI規定の改定とそれに伴う投稿時の書類書式の変更について報告した。株式会社CBRとの出版委託契約について、編集や印刷における下請け者に対しても責任を有することを明示する文言を、契約書に差し入れたと説明した。また、今後メールによる査読をオンラインシステムによる査読に変更することになった。西日本脊椎研究会の委員交代を承認した。

4. 倫理委員会と顧問弁護士について

松山副理事長により顧問弁護士の複数化が提案され、承認された。ただし、顧問弁護士は倫理委員会委員を兼任しないことになった。

5. 専門医制度委員会より：委員会報告

中村雅也理事が、第1回～第3回の専門医試験の合格者数をすでにホームページへも掲載済みと説明した。今後の専門医試験の申請者数は、第4回113名、第5回300名、第6回173名であるが、現在JSSRの指導医は約1500名のうち脊椎脊髄外科専門医資格へ未移行の有資格者が約800名おり、学術集会時の大会場確保が必須との指摘があった。そこで、急きょ、第7回専門医試験を2019年日本脊髄障害医学会で開催する準備を開始することとした。

脊椎脊髄外科専門医基幹研修施設申請について、3年連続で症例数を満たしていなかった1施設を除き、合格としたと報告した。認定開始は2019年4月1日からとなる。

6. 国際委員会より：委員会報告

中村雅也理事が、APSS ベーシックコースのハンズオンを慶応義塾大学で行うが、JSSRからの資金提供は極力受けずにすむように鋭意努力をしていると説明された。NASSのsummer spine meetingの招待があったが、旅費すら提供されないこともあり見送りとした。またspine world サミットについては、旅費も含めて提供されることもあり参加することとした。

2019年4月の当学会学術集会への海外からの演題申込みは過去最高の98演題であり、5名ずつのプラチナ賞・ブロンズ賞を選考すること、一日中英語での演題のみを行う会場を設ける予定であることが説明された。

今年度のアジアトラベリングフェローには 15 名の申請から 10 名を選考し、ビジティングスカラーとして寒竹司評議員を選出した。

7. 広報委員会より：ホームページリニューアルの進捗状況について

山下理事が、3月末までにホームページをリニューアルするために委員会内で協議を進めているとして、現状の構成案及び仕様を提示した。新コンテンツとして、「脊椎脊髄病学会の歴史」を山本博司名誉会員に執筆依頼し、年表形式の一覧も掲載予定。

8 新技術評価検証委員会より：平成30年度第3回委員会での報告

渡辺理事が報告を行い、椎体形成術ワーキンググループの設置を承認した。

以上

平成 31 年 1 月 18 日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村博亮

監 事 加藤文彦

監 事 小西宏昭